

「遊々の森」産土（うぶすな）の森での林業体験

三陸中部森林管理署では、平成15年から大船渡市立末崎中学校と「遊々の森」の協定を締結しており、生徒が林業体験を行う「産土の森」と名付けたフィールドでの森林整備活動を通じ、「海を育む森林を守り育てる大切さ」や「森林と海とのつながり」について、生徒の皆さんが理解を深めるための取組を支援しています。

林業体験に先立ち、9月14日には当署職員が講師として中学校へ出向き、「森林整備の必要性」や「現地作業での注意点」等をパワーポイント、動画、カードゲーム ZORING で事前に学習していたため、10月2日に実施した今回の林業体験では、3年生の生徒22名は4班に分かれ、職員とともにスムーズに作業を開始できました。

当日は、天候に恵まれ、汗ばむ作業となり、使い慣れていない手鋸・高枝鋸での枝打ち作業に苦労する場面や作業に手こずる場面もありましたが、班の仲間と協力しながら予定量を終了することが出来ました。また下刈り作業では自分の背丈程もある下刈鎌での作業も徐々にペースが上がり予定範囲を無事に終了することが出来ました。



苗木はどこまで



安全を確保して作業します



下刈、枝打ちの体験を通じて、先輩が植えた苗木を守り育て続けることは、中学生にとっても貴重な体験になったと考えています。今後も後輩たちに引き継がれる「産土の森」での森林整備活動を全力で支援していきます。

森林技術指導官 村上 智